

コイの行方は…? カーブ観戦で7組のカップル誕生

しょうばら縁結び事業

縁結びイベント「C^ド℃^ド℃^ドと縁結び!」を9月15日、マツダスタジアムをメイン会場に開催し、男女合わせて48人が参加しました。

市内の参加者は早朝バスに乗り込み、道中はカーブにまつわるクイズを楽しみました。最初の会場である広島市内のホテルに着くと、庄原市外の女性参加者と合流。お互いに自己紹介を済ませ、各自緊張しながらも和やかな雰囲気の中で、球場に到着すると、ラゲジュアリーフロアで、試合前の高揚感の中、昼食を取りました。その時、突如会場にスライリーが登場!驚きの声とともに参加者の注目を一挙に集め、参加者同士のよい話題になり、話が弾んでいました。



ヘアシートで距離を縮めた参加者(プライバシー保護のため写真を加工しています。)



(http://shobara-emusubi.jp)をご覧ください。

試合が始まると、あらかじめ気になる相手を記入していた「恋のドラフトカード」に基づき、ペアシートに座る男女を1回ごとに入れ替えながらイベントを進行しました。回を重ねるごとに緊張が解けていき、男女で打ち解け合っていました。

試合はカーブの敗戦でしたが、カーブ観戦という共通の楽しみが参加者同士の距離を縮め、7組のカップルが誕生しました。今後、参加者同士の恋愛が次のステップに進むよう丁寧にサポートしていきます。

しょうばら縁結び事業では、結婚後庄原市に住む意思を持つ独身者を対象に、出会いイベント、スキルアップセミナーの開催や、相手の個別紹介などを行っています。詳しくはしょうばら縁結びのホームページ

Camera Report カメラレポート

●市内のイベントやまちの話題をお届けします。行政管理課広報統計係 ☎0824-73-1159 / Fax0824-72-3322



食と芸能を堪能

第26回比和やまびこ祭・10/21

No.1

比和総合運動公園で、比和やまびこ祭が開催されました。例年、からだいきいき健康まつりが同時開催されていますが、本年は、庄原「みのりの祭典'21」も同時開催され、比婆牛などのおいしい食材が楽しめるバザーがより充実し、約8千人の来場者でにぎわいました。

ステージでは、比和小学校の児童による合唱・鼓笛演奏や、比和中学校の生徒による比和牛供養田植の披露、トライアルスーパーデモなどが行われました。また、清水アキラさんによるLIVE & トークショーも行われ、その軽快なトークとモノマネを織り交ぜた歌などで来場者を楽しませました。当日の司会進行は、タレントの松本裕見子さんが行い、会場は大変盛り上がりしました。



▲比婆牛のモモ肉の丸焼きなどバザーが充実



▲ロードレースでは子どもたちの熱い戦いが繰り広げられた



▲比和小学校の児童による合唱



西城町の魅力を発信

西城フォトコンテスト作品展示・10/13-21

No.7

西城フォトコンテストで、西城町内外から応募された作品約650点が、西城自治振興センターに展示されました。今回で6回目の開催となるこのコンテストは、「西城の四季」をテーマに西城町の魅力を発信し、西城町のイメージアップを図ることを目的としています。

訪れた人は、四季折々に変化する西城町の風景写真を興味深そうに眺め、「季節によってまったく違った表情を見せるので、見ていて飽きない。また、今回のコンテストの作品も見たい」と話していました。

入賞者には、賞状と西城町の特産品が進呈され、写真のデータは西城自治振興区のホームページやFacebookに掲載されています。



▲施設内にたくさんの応募作品が並んだ

旬菜弁当で交流

旬菜食堂 秋もおいしくいただく会・9/21

No.9

総領保健福祉センターで、地域の活動グループ“旬菜食堂”による「秋もおいしくいただく会～旬のものをおいしく食べて、夏の疲れを癒しましょう～」が行われました。同グループは、平成21年から年6回、各家庭で採れた旬の野菜を持ち寄り、メニューを考え、料理を楽しんでいます。

今回は、「そうめんかぼちゃの中華炒め」「豆腐団子」など5品を調理しました。また、7月から、自分たちで作った料理をおすそ分けしようと、地域の高齢者サロンに栄養のバランスに配慮したお弁当の提供を行っており、利用者にも大変喜ばれています。同グループのメンバーは「これからも、お弁当を通じて、サロンの方々との交流を深めていきたい」と話していました。



▲旬の野菜を使ったメニューを考えみんなで調理

交通安全の大切さを発信

交通安全テント村・9/21

No.6

高野保健福祉センター前で「秋の全国交通安全運動交通安全テント村」が開催されました。この催しは、庄原地区交通安全協会高野分会の主催で、交通安全運動を広く市民に周知し意識の高揚を図るために毎年開催されています。

県道を走るドライバーへの呼びかけ、小中学生の交通安全標語優秀作品表彰のほか、今年は自動ブレーキ搭載車乗車体験や発炎筒着火体験、エアバック作動実演が行われ、来場者は車の安全装備の機能について理解を深めていました。交通安全協会高野分会井上清憲会長は「実際に体験することで、身をもって交通安全の大切さを学んでもらえるとうれしい」と話していました。



▲エアバック作動実演の様子

庄原と首都圏をつなぐ

ひろしま里山ウェーブ拡大プロジェクト・10/19-21

No.8

地域貢献に高い意欲を持つ首都圏の若い世代が、現地での体験や交流を通じて、中山間地域の課題解決に向けたプランを作成する「ひろしま里山ウェーブ拡大プロジェクト」の現地実習が市内で行われ、4人が訪れました。

実習では、川北町の「暮らし宿 お古」で、釜戸での調理や木の伐採などの体験をしたほか、庄原暮らしお試し体験施設「くちわの家」で移住者や地域の方々との意見交換を行いました。実習生は、「五右衛門風呂や釜戸での調理などの里山暮らしの体験により、普段の生活とは違う貴重な時間を過ごすことができた」と話していました。

実習生は、このたびの現地実習や首都圏でのグループワークを経て、3月に地域課題解決に向けたプランを発表する予定です。



▲実習生がまき割りに挑戦

見て、食べて、参加して!!

第16回和牛の里口和モーモー祭・10/6-7

No.3

口和総合運動公園で、2年に1度の第16回和牛の里口和モーモー祭が開催され、2日間で延べ1万8千人が来場しました。

広場では、牛衣を着飾った和牛が行進する「モーモー大行進」や「牛と子どもの綱引き」などが行われました。庄原実業高校による「牛の碁盤乗り」では、大きな拍手と歓声ができ、会場は大変盛り上がりしました。ステージでは、地元団体などの芸能や、水森かおりさんや南一誠さんの「歌謡ショー」などが盛大に行われました。また、地元の農産品や特産品などの出店ブースには長蛇の列ができ、広島県産黒毛和牛の焼肉コーナーは、家族連れなど多くの人であふれていました。



▲牛の碁盤乗りの様子

長年の取り組みが評価される

「森の名手・名人」認定証授与・10/10

No.5

公益社団法人国土緑化推進機構による、平成30年度「森の名手・名人」に、東城町在住の坂部廣和さんが認定されました。

坂部さんは、45年以上にわたり林業経営を実践し、伐採した木を搬出して収益をあげる間伐手法に、県内でも最初に取り組んだ、林業経営の第一人者です。所有する山林は約150ヘクタールに及び、現在も自ら作業道の開設や伐採作業を行っています。また、林業関係団体の代表などの要職を歴任するなど、県内の林業発展に多大な貢献をしています。

こうした、長年の取り組みが評価され、「森づくり部門」で認定を受け、木山耕三市長を通じて認定証が授与されました。



▲木山市長から坂部さんへ認定証授与

地域住民などでにぎわう

第36回ふれあい東城まつり・10/13-14

No.2

東城小学校グラウンドをメイン会場に、第36回ふれあい東城まつりが開催されました。

1日目は、東城文化ホールで「第6回東城ふれあいステージ」が開催され、芸能や吹奏楽など、地域の団体が日頃の練習の成果を発表しました。

2日目はLinoさんと大道芸人チャーリーさんのステージパフォーマンスや、ちびっこ相撲、比婆荒神神楽子ども神楽塾の舞など、盛りだくさんの内容でした。また、会場には健康チェックなどを行う「健康ひろば」や「展示ひろば」、グルメなどが並ぶ「出店ひろば」などが開設され、災害支援を目的とした「野菜オークション」も行われ、多くの来場者が思い思いの場所で楽しんでいました。



▲会場内につくられた土俵でちびっこ相撲

川下りで庄原の自然を満喫!

西城川ラフティング体験のモニターツアー・9/21

No.4

庄原市観光協会が、市内を流れる西城川で、ラフティング体験のモニターツアーを開催しました。「ラフティング」とは、特殊なゴムボートに乗って行う川下りで、市は、このラフティングを体験型教育旅行（民泊）と組み合わせた新たな自然体験として、平成28年度から整備に取り組みしています。

当日は、市内外から11人の参加があり、ガイドからボートのこぎ方やライフジャケットの装着方法などの説明を受け、3艇のボートに乗り込んで川下りをスタートしました。天気はあいにくの雨でしたが、参加者はガイドの指示のもと、力を合わせてボートをこぎ、岩を避けたり激流を乗り越えたりするなど、迫力満点の川下りを楽しみました。



▲激流も力を合わせて乗り越える